

建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証 2026 年度 1 期 技術検定試験(種別追加)のご案内

2026 年 03 月 30 日
一般社団法人 日本溶接協会
建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証委員会

この技術検定試験は、WES 8110 及び WES 8111(*)に基づき、型式認証された溶接ロボットを用いて建築鉄骨の製作を行う建築鉄骨ロボット溶接オペレータの資格認証のために実施します。

- (*) WES 8110 建築鉄骨ロボット溶接オペレータの技術検定における試験方法及び判定基準
WES 8111 建築鉄骨ロボット溶接オペレータの資格認証基準

1. 受験資格について

以下の(1)から(3)をすべて満たすこと。

- (1) 種別追加を希望する機種種の資格が合否判定日(2026/06/16)において有効であること。
- (3) 専門級の追加の場合は、姿勢の変更を伴わずエンドタブの変更のみであること。姿勢の変更を伴う場合は、新規に受験いただく必要があります。
(例. PP-VS⇒PP-VF の追加は可能, PP-VS⇒PP-HS の追加は不可。この場合は新規受験が必要)
- (4) 申請する機種ごとに 100 日以上溶接ロボットによる溶接訓練もしくは補助の経験のある者。

2. 技術検定試験の内容について

提出していただいて書類による書類審査となります。

3. 受験申請手続きについて

3.1 提出書類

本協会ホームページから受験申込書・職務経歴書の用紙をダウンロードして、申請して下さい。
(顔写真は無帽、上半身で、最近 6 ヶ月以内に撮影したものを貼付して下さい。)

(1) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ技術検定試験受験申込書<種別追加>

(2) 受験者の職務経歴証明書

(申請する機種ごとに 100 日以上ロボット溶接による溶接訓練もしくは補助の経験が必要。)

(3) 添付書類

(下記①～④の書類は A4 サイズでコピーし、申請書 1 件ごとに添付して下さい。)

- ① 種別追加を希望する建築鉄骨ロボット溶接オペレータ資格のコピー(表裏)
- ② 現在保有している JIS Z 3841/WES 8241 半自動溶接技能者適格性証明書のコピー
- ③ 申請する種別と同じ種別のロボット型式認証書 (日本ロボット工業会発行)(付属書含む) のコピー

(注 5) 上記①～③は合否判定日(2026 年 6 月 16 日)において有効期間内であり、A4 サイズでコピーし、申請書 1 件ごとに添付して下さい。

※ロボット型式認証書の有効期限が合否判定日以前に切れる場合は、以下の対応をお願いします。

- 1) 現状のロボット型式認証書に「追って差し替える」旨を記した付箋等を貼付する。
- 2) 1)の認証書を申請書に添付して、申請する。
- 3) 新たなロボット型式認証書を手後、速やかに事務局へ送付する。

(この場合、どの受験者の申請書に添付するロボット型式認証書であるかわかるように送付ください。)

[建築鉄骨溶接ロボット型式についての注意事項]

(注 6) アークマン RON/MP の SDFN はロボット型式が 3 種類 (SDFN061, SDFN 067, SDFN 068) あり, 入熱とパス間温度に差があります。したがって, SDFN061 と SDFN067・SDFN068 は 1 つの受験申込書中に一緒に記載しないで下さい (一緒に記載した場合, 口述試験において評価上の不都合が生じる場合があります)。どうしても必要な場合には, SDFN061 と SDFN067・SDFN068 のそれぞれの申込書を作成 (申込書 2 件作成) して下さい。なお, CDFN062 と CDFN069 の場合も同様です。

(注 7) 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ資格認証においては, アークマンの RON/MP と MP は別機種扱いです [石松の IR-700/900/100 と IR-700REG/900REG/100REG の場合, ARCMAN A60 の SDFN108・113 と SDFN115 (REGARC) 及び CDFN114 と CDFN116 (REGARC) の場合も同様です]。

1 つの受験申込書に, アークマン RON/MP の型式認証書とアークマン MP の型式認証書を一緒に添付することはできません。アークマン RON/MP の型式とアークマン MP の型式の両方を適用する場合は, 受験申込書も 2 つ (アークマン RON/MP とアークマン MP) 作成して, 提出して下さい (合格後の適格性証明書も, アークマン RON/MP とアークマン MP の 2 枚発行されます)。

なお, アークマン RON/MP の型式認証記号とアークマン MP の型式認証記号は下記のとおりです。

アークマン RON/MP の型式認証記号(下 7 桁のみ記載)

PPFS066

PPFF058

SDFN061, SDFN067, SDFN068

CDFN062, CDFN069

PPVS055

PPVF054

PPHS060

PPHF059

アークマン MP [パルスアーク溶接(メカ呼称: REGARC)] の型式認証記号(下 7 桁のみ記載)

SDFN072

CDFN073

④ 受験料の銀行振込控のコピー(A4 用紙へ実物大コピー。拡大はしなくて結構です。)

くお願い! > 提出書類については, 必ず控え(コピー)を保管して下さい。

(注 8) 記入した申請書と職務経歴証明書は, 写真を貼付し, 本人署名捺印と所属長印を押印して, コピーをとった後, 提出して下さい。申請書(職務経歴証明書等添付書類を含む)は必ず本人が内容を確認し, 署名捺印して下さい。

[職務経歴書を記入するときの注意点]

追加申請する種別について, 主な実務経歴を記入して下さい。

実務経歴は, 産業用ロボット安全衛生特別教育修了後から申請日までで, かつ, 申請日前 3 年の期間におけるロボット溶接の経歴が記入できます。

職務経歴書に不備があると受験資格が不十分となり, 受付できない場合があります。また, 記載内容に虚偽があった場合は, 取得資格が取消しになる場合がありますので, ご注意下さい。

3.2 受験料及び振込先

(1) 受験料

機種追加受験の受験料(消費税 10%込み)は 7,700 円です。

なお, 受験料の詳細は別紙を参照して下さい。

(2) 受験料の振込み先

三井住友銀行 神田駅前支店 普通預金 No.1304625 一般社団法人 日本溶接協会

(注 9) 振込手数料は, 受験申請者の方でご負担願います。振込控のコピーを受験申込書に添付して下さい。振

込控(写)がない場合は、受付できませんので注意して下さい。

(3) インボイス対応領収書の発行について

新規受験料，再評価受験料，サーベイランス申請料の振込みに対するインボイス対応の電子領収書は当協会ホームページからダウンロードすることができます。

新規受験の場合は受験番号（申込後に発行される受験票に記載）・氏名（カタカナ）・生年月日を入力することで，概ね6月末からダウンロードできる予定です。

【（一社）日本溶接協会 登録番号：T5010005004461】

3.3 申込み先

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-20

(一社) 日本溶接協会 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ認証委員会 事務局 (西村)

TEL.03-5823-6325 FAX.03-5823-5211 (E-mail: yoshihito_nishimura@jwes.or.jp)

3.4 受付期間

受付期間：2026年04月30日(木)必着 提出書類を3.3項の申込み先に提出して下さい。

4. 資格認証の範囲など

資格認証の範囲は表 2 のとおりです。また、ロボット溶接実技試験の免除条件となる半自動溶接技能者の専門級資格は表 3 のとおりです。

表 2 資格認証の範囲

(WES 8111「建築鉄骨ロボット溶接オペレータの資格認証基準」から)

級別	種別記号	継手の区分	溶接姿勢	エンドタブの種類
基本級	PP-FS	通しダイアフラムと梁フランジ	下向 (F)	スチールタブ
	PP-FF	H 形鋼柱と梁フランジ		スチールタブ、代替タブ
		溶接組立箱形断面柱と梁フランジ		
		十字柱と梁フランジ		
基本級	SD-FN	H 形鋼柱と通しダイアフラム	下向 (F)	なし
		十字柱と通しダイアフラム		
	CD-FN	角形鋼管柱と通しダイアフラム		なし
		角形鋼管柱と角形鋼管柱		
専門級	PP-VS	通しダイアフラムと梁フランジ	立向 (V)	スチールタブ
	PP-VF	H 形鋼柱と梁フランジ		スチールタブ、代替タブ
	PP-HS	溶接組立箱形断面柱と梁フランジ	横向 (H)	スチールタブ
	PP-HF	十字柱と梁フランジ		スチールタブ、代替タブ
	SS-HA	通しダイアフラムと梁フランジ	横向 (H)	なし
	SS-HN	角形鋼管柱と角形鋼管柱		
	CC-HA	角形鋼管柱と通しダイアフラム		なし
	CC-HN	角形鋼管柱と通しダイアフラム		
	HH-HS	円形鋼管柱と円形鋼管柱		スチールタブ
	HH-HF	H 形鋼柱と H 形鋼柱		スチールタブ、代替タブ
	BB-HC	H 形鋼柱と通しダイアフラム		コーナタブ
	BB-HN	溶接組立箱形断面柱と溶接組立箱形断面柱		なし
		溶接組立箱形断面柱と通しダイアフラム		

表 3 ロボット溶接実技試験の免除条件となる

JIS Z 3841 / WES 8241 に基づく半自動溶接技能者の専門級資格

専門級申請資格の種類		JIS Z 3841 / WES 8241 に基づく 半自動溶接技能者の専門級資格
継手の区分	種別記号	
通しダイアフラムと梁フランジ 柱と梁フランジ	PP-VS	SA-2V,SA-3V,SN-2V,SN-3V のいずれか
	PP-VF	
	PP-HS	SA-2H,SA-3H,SN-2H,SN-3H のいずれか
	PP-HF	
角形鋼管柱と角形鋼管柱	SS-HA	—
	SS-HN	SA-2H,SA-3H,SN-2H,SN-3H のいずれか
円形鋼管柱と円形鋼管柱	CC-HA	—
	CC-HN	SA-2H,SA-3H,SN-2H,SN-3H のいずれか
H 形鋼柱と H 形鋼柱	HH-HS	
	HH-HF	
溶接組立箱形断面柱と 溶接組立箱形断面柱	BB-HC	
	BB-HN	

《参考》 受験後の対応と手続きなどについて

5. 試験結果の発表と登録申請について

試験結果（可否）については、勤務先（連絡先）宛に可否通知書を郵送します。電話等による照会には応じられません。

合格された方には、合格通知書と一緒に登録申請書を送付します。資格の登録には登録申請の手続きが必要で、登録料（認証料）を振込みの上、指定された期限までに申請して下さい。

6. 適格性証明書の交付について

登録申請書の受領後、申請いただいた種別が追加された建築鉄骨ロボット溶接オペレータ適格性証明書が交付されます。

交付日は、申請前の適格性証明書の日付と同じとなります。

7. 資格更新について

7.1 認証の有効期間

資格認証の有効期間は、申請前の適格性証明書と同じです。

以上